



平成22年3月17日(水) サンパレス福島
 ■メークアップ/29名 ■修正率/97.02% ■会員/67名 ■出席/36名 ■出席率/53.73%

本日のプログラム	
1 開会点鐘	6 スマイリング報告(会報にて)
2 ロータリーソング(奉仕の理想)	7 幹事報告
3 4つのテスト	8 委員会連絡事項
4 来訪者紹介と会長挨拶	9 PETS報告
5 奨学生修了証&カウンセラー感謝状の伝達	10 米山奨学生修了スピーチ
	11 各委員会報告(会報をもって)
	12 閉会点鐘



— 今月のプログラム —	
3月28日(日) 大森城山公園植樹と清掃活動 AM 10:00~	4月17日(土) 地区協議会 (AM 8:30 ~ パルセ飯坂)
3月31日(水) 創立記念夜間例会 PM 18:00 ~	4月25日(日) 東北第一分区分会親善ゴルフ大会
4月7日(木) 会員スピーチ 誕生祝い	(パーシモンCC)



◆ 会長挨拶 ◆

林 克重 会長

皆さんこんにちは、お陰様で13日、14日会長研修セミナーは、2日間充実した内容で大橋年度の本格的なスタートを切りました。ガバナーエレクト事務局長矢野清和幹事を筆頭に関係者の皆さん準備から実行まで本当にお疲れ様でした。

各地から集まった会長エレクトの皆様は、大いに学び、交流し次年度の準備に入ることを期待します。また2日目に行われた蓮池薫さんの特別講演は如何だったでしょうか？

私は残念ながら社員の結婚式のため講演を聴くことはできませんでしたが、南クラブからも多くの参加者がありましたことを感謝申し上げます。

黒羽さんは、エレクトの立場とガバナー出身クラブと両方、気を使いながらの研修だったのでなかったのでしょうか？ 後ほど、PETS報告をお願いします。これからは、1カ月後の地区協議会です全員のご協力を頂かねばなりません。

2530地区次年度役員の皆さんの研修会です。ウエルカムの気持ちを大いに発揮し地区協議会を下さる南クラブだと言っていただけに、会員の皆様と共に準備にご協力したいと考えております。米山奨学生 郭芳さんのスピーチもあります。本日は、福大で学んだことや、福島での体験なども交えて将来に向かって計画していることなどお話を伺いできると幸いです。米山委員会の皆さんには植木委員長を中心に郭芳さんをよく面倒見て戴きまして感謝いたします。郭芳さん健康に十分留意して、京都で元気に研究に励んでいただきたいと思います。

◆ 奨学生修了証&カウンセラー感謝状の授与 ◆

奨学生郭芳さん カウンセラー植木洋司委員長



☆ 林会長より郭芳さんに米山奨学生として責任ある行動としっかりと学んで戴いた事に対し修了証を手渡し今後の活躍を期待しますと述べられた。

☆ 会長より植木洋司委員長に財団法人ロータリー米山記念奨学会から貴殿のご尽力に対し深く感謝の意を表し感謝状を贈られました。

◆ 幹事報告 ◆



高萩 秀則 会員の退会挨拶
3月末日をもって日本赤十字社を退職いたします。H20年の7月に入会して1年9ヶ月の間、楽しい時間を過ごさせて戴き誠に有難うございました。

◆ 委員会連絡事項 ◆



矢野 清和 次年度地区幹事
矢野清和と会員より地区協議会の打合せ内容に付いての説明とPETS会長エレクト研修セミナー参加報告がありました。次年度のRIテーマは「地域を育み、大地をつなぐ」と題して6つの重点分野を掲げ第2530地区の目標と重点活動に付いて述べられた。

◆ PETS 報告 ◆



黒羽 好夫 会長エレクト
さる、3月13日~14日の2日間 PETS (President-Elect Training Seminar) と地区協議会に義務出席をして参りました。研修セミナーの内容は「2010~11年度のRIテーマ」・「第2530地区目標並びに地区組織と運営」に付いては大橋廣治ガバナーエレクトより説明を受けました。中澤ガバナーからは「クラブ会長の責務」に付いて、牧地区研修委員会委員長からは「クラブ管理と運営」に付いて説明を受けた後、RIのテーマや「ロータリーとは何か」との問いにポール・ハリスの考え聞き会長としての責任責務に付いて纏々説明を戴きました。会長として、7月からの2010年度に向けて邁進して参りますので皆様のご協力をお願い致します。

◆ 米山奨学生修了・スピーチ ◆

米山奨学生：郭芳 さん



♡ 一年奨学生としての感想 ♡

こんにちは。郭芳です。今日は15分を頂きまして、日本での留学生活の感想と一年間米山奨学生としての感想を話してみたいと思います。

私は2005年に交換留学生としてはじめて日本に来ました。途中で一年半を帰国し、大学を卒業しました。以下、(抜粋して郭芳さんの話を書き添えます。) 2007年に再度、私費留学生として日本に来ました。3年半の生活の中で日本の生活習慣や環境を学び取りました。(日本人の礼儀正しさや済んだ環境) 中国では労働力がいっぱいいて、学生のアルバイトなく日本にきてはじめてアルバイトをして、はじめて授業料と生活費のために、週に6回働きました。

私は農村出身で、「努力すれば報われる」と子共のときから両親に教えられました。勉強とアルバイトは両立出来ないと考え、その時か

私は奨学金を頂けるように頑張って勉強することに決心し、お陰様で私は民間最大の奨学団体を支援するロータリー米山奨学生になりました。

奨学生として国際交流・親善平和のために、何をやらなければならないのか一人の中国人としてごく悩みました。奨学金を頂いて、何らかの恩返しをするには、自分の研究分野で上げた成果を通して、私の感謝の気持ちを言いたかったです。

皆さまのご支援で、私は勉強の時間を頂きました。私は夢を実現する力も頂き、修士の学位を取る事が出来、順調に同志社大学の博士課程に進学することになりました。さらに、4月から私は文部科学省の国費留学生奨学生として採用されました。このすべての幸運は米山奨学生になってからです。「たとえ一滴の水でも受けた恩恵は、湧き泉として報いるべき」と中国にはこのようなことわざがあります。今までロータリアンから受けた恩恵を、私にとって生涯忘れないことです。

疑問をもって、私は例会を出席しました。毎回の例会を見てから、答えは分かりました。これこそロータリーの理想でございます。職業を通して社会に貢献し、国際間の理解と親善と平和を推進することを目的に、奉仕活動を行うという理想でございます。

以上はこの一年間の奨学生生活で勉強できたことでまた奉仕の精神を学び、自分の将来にとって大変有益だと思っております。その中で、私の日本のお父さん植木先生をはじめ、米山奨学会委員会の皆さんに対して、特に感謝の気持ちで一杯でございます。

学友になってからも自分の留学経験、米山奨学生になって教わったことを活かして立派な大人になりたいです。なおかつ福祉の分野で日中友好の架け橋になって国際社会にも貢献したいと思っております。これからも米山奨学生としての光栄と責任感を背負って精一杯がんばりますので、どうぞよろしくお願致します。一年間ほんとうにお世話になりました。

郭芳さんのスピーチに会員一同、感激の余り会場いっぱい拍手成りやまず、最後に植木洋司委員長の涙ぐんだお別れの言葉で締めくくった。

◆ スマイリング ボックスメッセージ ◆

- PETS報告をします。宜しくお願致します。
黒羽 好夫
- 郭芳さん、スピーチありがとうございます。
佐藤 誠 鈴木 光一
- 黒羽会長エレクトのPETS報告に感謝して
高橋 和之
- 郭芳さん、また何処かでお会いしましょう。
富田健三郎
- 残すところあと3ヶ月となりました。
林 克重
- 郭芳さん元気で頑張って、
廣澤 俊樹
- 母の葬儀には大変お世話になりました。
吉田 和義

スマイル 45,000円 財団：米山 53,000
 ◆ 座右の銘 ◆ 鈴木 恵美子 会員

『起きて半畳 寝て一畳』

どんな事があっても自分自身を見失わず奮り高ぶる事無く
 — 編集後記 — 郭芳さんのスピーチの全文を見たい方は
 メール添付でお送りします。fujihashi@circus.ocn.ne.jp

